

氏名
月
日

■ 安田さんのクラスでは、興味を持ったことについて自分で調べ、発表することになりました。次は、安田さんが興味を持ったことと、発表するために書いた原稿です。【安田さんが興味を持ったこと】と【安田さんが書いた発表原稿】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【安田さんが興味を持ったこと】

自動車整備士になる方法

【安田さんが書いた発表原稿】

僕は、小さいころから車が好きで、特に、車の構造を見たり、車が走る仕組みについて考えたりすることがとても好きです。だから、将来は車に関わる仕事がしたいと思っていました。最近では、自動車整備士になりたいと考えるようになりました。そこで、今回は自動車整備士になる方法について調べてみました。

方法について説明する前に、①簡単に自動車整備士がどのような仕事をするのか、お話しします。自動車整備士は、自動車が故障したり事故を起こしたりするのを防ぐために、自動車に不具合がないかを確認し、必要に応じて整備や修理をします。だから、自動車整備士は、②安全に自動車に乗るためにとても大切な仕事です。

では、自動車整備士になる方法を説明します。自動車整備士になるには、必ず資格を取る必要があります。それには、主に二つの方法があるそうです。

一つ目は、高校を卒業してから自動車整備の専門学校に行き、資格を取る方法です。専門学校を卒業すると、一般に二級自動車整備士の受験資格が得③られます。合格後、自動車整備工場などで実務経験を積んで、さらに上の資格を習得することができます。

二つ目は、高校を卒業してからすぐに自動車整備工場に就職して、実務経験を積んでから資格を取る方法です。実務経験を1年以上積みめば三級の受験資格が得られます。その後3年以上積みめば二級の受験資格が得られるそうです。それらに合格して、資格が取得できます。

父の知り合いに自動車整備士をしている川野さんという方がいるので、今回話を④聞いてきました。川野さんは、「人の命に関わる仕事なので、責任がとても重い仕事なんだよ。でも、欠陥^{けっかん}を発見して事故を未然に防ぐことができた時などは、とてもやりがいを感じるんだ。」とおっしゃっていました。

川野さんは、「」ともおっしゃっていました。僕も、早く自分で車の内部に触れるような技術と知識を身につけたいです。

中2国語②

氏名 月 日

北中学校の新聞部では、来月の学校新聞に「職場体験学習」のインタビュー記事に掲載することにまりました。次は、新聞部の横山さんが、職場体験学習を行った田中さんに行った【インタビューの内容】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビューの内容】

横山 それでは、職場体験学習に関するインタビューを始めます。

田中さん、よろしくお願ひします。

田中 よろしくお願ひします。

横山 田中さんはどこで職場体験を行ったのですか。

田中 私は、西町の図書館です。

横山 今回、図書館で職場体験をしたのはなぜですか。

田中 私は小さいときから本を読むのが大好きで、よく図書館に行っていました。そして、図書館の司書の方に、とても親切にしてくださいました。だから、しだいに、私も司書として図書館で働きたいと思うようになりました。そこで、図書館で働くことは具体的にどういうことなのかを知りたくて、図書館を選びました。

横山 そうなんですね。司書は、どんな人なのですか。

田中 私が働いた図書館では水野さんという方が司書で、とても優しい方でした。

横山 すみません。そういう質問ではなくて、

①

田中 そうでしたか。司書は、本の貸し出しや返却の受けつけを行ったり、利用者の調べものを手伝ったり、図書館に置く本を決めたりする仕事を行います。そのほかにも、普段利用者の目にはつかないような裏方の仕事がたくさんあり、今回の職場体験で私もお手伝いをしました。

横山 なるほど。では、職場体験をした感想を聞かせてください。

田中 一言で言うとも、本当に忙しかったです。

でも、図書館の仕事を直に学ぶことができ、本当に貴重な体験でした。

横山 それは有意義な体験でしたね。では、仕事の中で最も印象に残った体験は何ですか。

田中 そうですね……。絵本の読み聞かせをしたことでしょうか。子どもたちの前で絵本を読むんです。絵を見せながら、複数の登場人物になりきって読むのは難しかったです。でも、子どもたちから「おもしろかったよ。」「また読んでね。」と言われて、とてもうれしかったです。司書の方からもほめていただいて、自分の新しい一面を知ることができました。

横山 それはよかったですね。今回の職場体験は、田中さんにとって

②

新しい一面を知る機会になったのですね。

田中 はい。仕事自体はとも大変でしたが、

③

に対する興味が以前より増えました。

横山 よかったですね。では、そろそろインタビューを終わります。

田中 田中さん、本日はどうもありがとうございました。

中2国語③

氏名

月 日

/4問

■ 山川さんのクラスでは、「日本では動物園を廃止すべきだ」という新聞記事について、意見文を書くことになりました。次の【山川さんが書いた意見文】と【戸田さんが書いた意見文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【山川さんが書いた意見文】

私は、「日本では動物園を廃止すべきだ」という意見に賛成です。理由としては、まず、動物園のような狭い場所で、人の手で動物を飼育することは、自然の中で自由に生活し、一生を終える動物本来のあるべき姿ではないと思うからです。また、さくやオリの中で育てられている動物を観察するのは、動物の生態を学ぶということにもならないと思います。私は動物をそのような不自由な場所に閉じこめてしまふのは、かわいそうだと思います。

次に、普段見られない動物を見るために、動物が元々生活している場所から、動物園へ連れ去ることは、人間の勝手な行動だと、私は考えるからです。普段、「しなさい。」ということを目にしますが、動物園で動物を飼育することは、生き物を大切にしていることにはならないと感じます。

「動物園で直接動物を見ることは、動物について学ぶ大切な機会である。」という意見もあるでしょうが、動物の様子を撮影した動画や動物図鑑などもありますが、それらから学ぶのも一つの方法だと思います。人間の考えだけで動物園を存続させるのは、動物にとってよいことだとは思えません。

だから、私は、できるならば動物園を廃止して、人と動物が互いに尊重しあえる社会にしていきたいと考えます。

【戸田さんが書いた意見文】

私は、「日本では動物園を廃止すべきだ」という意見に反対です。その理由は、動物園で直接動物を見ることは、本や映像で見ると何倍も学ぶことが多いと思うからです。動物の大きさ、迫力、鳴き声などは、映像などで間接的に学ぶより、直接見聞きする方が何倍も学べます。

また、動物園は、単に動物を見せる場所ではないそうです。少し前、動物園を特集するテレビ番組を見て、動物園が動物を保護し、種を保存するための活動をしているということを知りました。動物園がなくなってしまうと、もしかすると、生息する動物の種類が減るかもしれません。私の父は、「動物を保護し、種を絶やさないために、動物園は多くの活動をしているんだ。それに、傷ついた動物を保護し、治療して自然に帰す活動を行っているところもあるそうだよ。」と言っていました。

「不自由な場所に動物を閉じこめるのはどうか。」という問題については、現在、なるべく自然に近い形で動物を生活させる動物園も増えていると聞きました。精神的に動物に負担がないように配慮できれば大丈夫なのではないかと思っています。

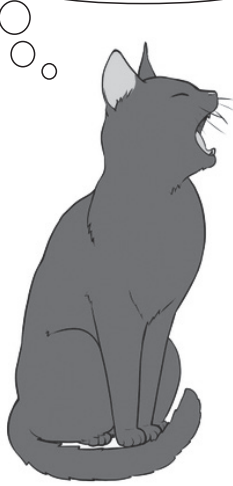
このように考えたので、私は動物園はこのまま廃止しなくてもよいと思います。

歴史的名作！！

吾輩は猫である

夏目漱石 作

読んでほしいニャ〜



明治時代に書かれた名作が
今読んでもなお面白い！
「名前のない」猫の視点から観
察した、
飼い主「苦沙弥先生」と
それをとりまく人々の様子を、
コミカルに描いた名作！

おすすめします！

吾輩は猫である 夏目漱石 著

〇〇文庫

明治時代から現代まで人々に愛され、読み継がれてきた
名作です。あなたも読んでみませんか？

おすすめポイント①：

猫の目を通して見た世界

猫の視点から、周りの人々の
様子や、他の猫との
交流が、時にはおかしく、時
には皮肉をこめて、軽妙なタ
ッチで表現されています。
本当にこんなふうに猫が考え
ていたら面白いだろうな、と
プツと吹き出したり…。

おすすめポイント②：

苦沙弥先生とその仲間たち

猫の飼い主の苦沙弥先生は中
学校の英語教師で、本人はす
ごく真面目なつもりなのですが、生徒にからかわれたり、
ジャムをなめ過ぎだと奥さんに怒られたり、変な友人が訪
ねてきたり、とにかく起こる
出来事や会話が面白いんです。

■ 北島さんのクラスでは、各班で一つの本についてのPOP広告（書店などで見られる、本の販売促進のための広告）を作るようになりました。北島さんの班では、夏目漱石の「吾輩は猫である」のPOP広告を作ることになり、一人ずつ案を考えました。次の、「北島さんが作った広告案」と「内田さんが作った広告案」を見て、あとの問いに答えなさい。

【北島さんが作った広告案】

【内田さんが書いた広告案】

一 【北島さんが作った広告案】と【内田さんが書いた広告案】の両方に共通している点として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 広告を読む人が不快に感じないように、丁寧な口調で書かれている。
- 2 その本を読んだときの感想が、詳しく書かれている。
- 3 本の題名と作者名、どの会社から出版されているのかが明確に描かれている。
- 4 内容が誰の視点で書かれており、どのようなことが書かれているのか説明されている。

--

二 【北島さんが作った広告案】と【内田さんが書いた広告案】の両方を見た野中さんが、次のように言いました。

野中さん「題名と作者名が読めない人もいるかもしれません。だから、

--

と思います。」

--

に当てはまる言葉を二十字以内で考えて書きなさい。(句読点も一字として含めます。)

20																			

三 【内田さんが書いた広告案】の

--

 に当てはまる言葉として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 こつけない
- 2 なげやり
- 3 理不尽りふじん
- 4 おおらかな

--

四 【北島さんが作った広告案】と【内田さんが書いた広告案】には、それぞれのような長所があると思いますか。あなたの考えを、次の条件1から条件4にしたがって書きなさい。

条件1 「北島さんの案の長所は、……。内田さんの案の長所は、……。…」という形で書くこと。

条件2 表現の工夫について具体的に書くこと。ただし、問題一～三に書かれている内容は書かないこと。

条件3 五十文字以上、九十文字以内で書きなさい。

条件4 原稿用紙の使い方に従って書くこと。

50																				

■ 高木さんのクラスでは、興味を持ったことについて調べて文章にまとめることになりました。次の【高木さんがまとめたもの】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【高木さんがまとめたもの】

わたしは、外国(注)の寓話(ぐわ)である「イソップ物語」に古文のものがあることを知り、興味を持ったので調べることにした。

「イソップ物語」は、動物や虫などが出てくる短い話を集めた物語集で、「カラスとキツネの話」などが知られている。「カラスとキツネ」の話は、肉をくわえて木に止まっていたカラスを見たキツネが、その肉を奪(うば)うために、カラスに、

「とても美しい声をお持ちだ。ぜひその声を聞かせてほしい。」

と頼(たの)む。気を良くしたカラスが一声鳴いたとたん、口の肉が下に落ちてしまい、キツネは肉を奪うことができたという内容である。この話からは、いくらほめられてもすぐに信じることなく、身を引きしめていなければならないという教訓を学ぶことができる。このように、「イソップ物語」は、動物の話の中に人間に対する教訓を盛りこんだ、たとえ話を集めたものでもある。

まず、この物語になぜ古文のものがあるのかを図書館で調べてみた。そして、キリスト教の宣教師によって日本に伝えられたのが最初で、江戸時代になって漢字仮名交じりの本、「伊曾保物語」として出版され、たくさんの人に読まれるようになったからだということが分かった。

次に、長い間この物語が語り継がれてきた理由となる、この物語が持つ特徴(とくちょう)について考えてみた。

一つは、物語の構成が単純で、内容が非常に分かりやすいことだ。一つ一つの話が短く、すぐに読み終えることができる。また、一つの話に登場する生き物も少ないうえ、動物などを用いた分かりやすいたとえ話になっており、小さな子供にもすぐに理解できる内容である。

もう一つは、物語によって示される教訓が、現代でも十分に通用するということだ。「カラスとキツネの話」にしても、「ほめられることがあっても、図に乗ることなく、身を引き締めること」という教訓は、現代でも通用するものである。これは、人間の基本的な性質は、どの時代もほとんど変わらないということを示していると思う。

このように、わたしは物語の特徴を通して、この物語が語り継がれている理由について考えてきた。この物語には本来、前半に作者の伝記が含まれているようなので、ぜひそれも読んでみたいと思う。

(注) 寓話＝教訓や風刺(ふうし)を織りこんだ物語。

